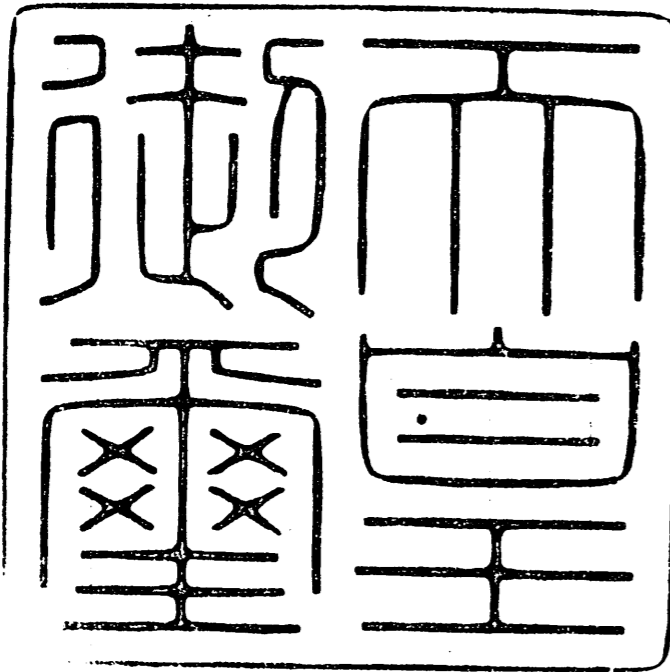


法律第四十九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル商工會議所  
法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二年四月四日

内閣總理大臣  
商工大臣

藤澤茂之輔

法律第四十九號  
商工會議所法

第一條 商工會議所ハ商工業ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 商工會議所ハ法人トス

第三條 商工會議所ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ商工業ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ於テハ町ノ區域ニ依ルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ市ト市町村又ハ町ト町村ヲ合シテ一地區ト爲スコトヲ得

第四條 商工會議所ヲ設立セントスルトキハ第十二條第一號ノ議員ノ被選舉權ヲ有スベキ者三十人以上發起人ト爲リ其ノ議員ノ選舉權ヲ有スベキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條 商工會議所ハ前條ノ設立ノ認可アリタル日ニ於テ成立ス

商工會議所成立ノ後役員ノ選任アル迄ノ間必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ

第六條 定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱、地區及事務所ノ所在地
- 二 議員ノ定數竝ニ其ノ選舉及選定ニ關スル規定
- 三 役員ノ定數、權限及選任ニ關スル規定
- 四 會議ニ關スル規定
- 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 六 庶務及會計ニ關スル規定

第七條 商工會議所ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 商工業ニ關スル通報
- 二 商工業ニ關スル仲介又ハ斡旋
- 三 商工業ニ關スル調停又ハ仲裁

四 商工業ニ關スル證明又ハ鑑定

五 商工業ニ關スル統計ノ調査及編纂

六 商工業ニ關スル營造物ノ設置及管理

七 其ノ他商工業ノ改善發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第八條 商工會議所ハ商工業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

商工會議所ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

商工會議所ニ商業部及工業部ヲ置ク場合ニ於テハ部ハ定款、定款所ニ依リ各前二項ノ建議又ハ答申ヲ爲スコトヲ得

第九條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ商工業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第十條 商工會議所ハ商工業者ニ對シ商工業ニ關スル統計其ノ他ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ

提出ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 商工會議所ニ議員總會ヲ置ク

第十二條 議員總會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

四

一 第十四條乃至第十八條ノ規定ニ依リ被選舉權アル者ニ就キ選舉人ノ選舉シタル議員  
二 地區内ノ重要商工業ヲ代表セシムル爲第十九條ノ規定ニ依リ選定シタル議員

第十三條 議員ノ定數ハ五十人以内トシ前條第二號ノ議員ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一トス但シ  
地方ノ狀況ニ依リ其ノ割合ヲ五分ノ一未滿トスルコトヲ妨ゲズ

同一商工會議所ニ於テ前條第一號ノ議員ト同條第二號ノ議員トヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第十四條 左ノ條件ヲ具フル者ハ第十二條第一號ノ議員ノ選舉權ヲ有ス

一 帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ナルコト但シ會社ニ在リテハ資本又ハ財産ヲ  
目的トスル出資ノ半額以上及議決權ノ過半數ガ帝國臣民(帝國法令ニ依リ設立シタル法人ヲ  
含ム)ニ屬スルモノタルコトヲ要ス

二 商工會議所ノ地區内ニ於テ引續キ二年以上本店支店其ノ他ノ營業場ヲ有スルコト

三 自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者、取引所又ハ鑛業權者ニシテ商工會議所ノ地區

内ニ於テ營業收益税、取引所營業税又ハ鑛産税ヲ一年間ニ命令ノ定ムル額以上納ムルコト但

シ地區外ニモ營業場ヲ有スル者ノ納稅額ノ算出方法ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項第三號ノ納稅額決定以前ニ於テハ其ノ最近ニ決定セラレタル一年間ノ納稅額ヲ以テ其ノ納  
稅額ト看做ス

會社ノ資本又ハ財産ヲ目的トスル出資ガ命令ノ定ムル金額以上ナル場合ニ於テハ第一項第三號  
ノ納稅ニ關スル條件ヲ具ヘザルトキト雖モ第一項ノ選舉權ヲ有ス

家督相續ヲ爲シタル者ニ付テハ第一項ノ選舉權ニ關スル條件ニシテ被相續人ノ具備シタルモノ  
ハ之ヲ其ノ者ノ具備シタルモノト看做ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ選舉權ヲ有セズ

五

- 一 破産者ニシテ復権ヲ得ザル者
- 二 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 三 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十六條 第十二條第一號ノ議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ其ノ被選舉權ヲ有ス

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ被選舉權ヲ有セズ

- 一 禁治産者及準禁治産者
- 二 女子及年齢三十歳未滿ノ者

第十八條 第十二條第一號ノ議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

投票ハ選舉人自ラ之ヲ行フ但シ會社及無能力者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ單記投票又ハ五人以内ノ連名投票ノ方法ニ依ル

選舉ハ選舉人ヲ二級ニ分チテ之ヲ行フコトヲ得

前五項ニ規定スルモノノ外選舉ノ方法、手續、取締其ノ他選舉ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 第十二條第二號ノ議員ハ地區内ノ重要商工業一業種ニ付各一人トス

前項ノ重要商工業ノ種目ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ議員ハ第十四條第一項第一號ノ條件ヲ具フル者タルコトヲ要ス

第十五條又ハ第十七條各號ノ一ニ該當スル者ハ第一項ノ議員タルコトヲ得ズ

前四項ニ規定スルモノノ外第一項ノ議員ノ選定ニ關シテハ定款ノ定ムル所ニ依ル

第二十條 議員タル會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代表者ヲ定ムベシ

前項ノ代表者ハ會社ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ登記シタル支配人ニシテ帝國臣民タル

コトヲ要ス

一人ニシテ同一商工會議所ニ於テ二以上ノ會社ノ代表者ト爲ルコトヲ得ズ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ代表者タルコトヲ得ズ

一 第十五條又ハ第十七條各號ノ一ニ該當スル者

二 同一商工會議所ノ議員タル者

三 第十二條第一號ノ議員ノ選舉權及被選舉權停止中ノ者

第二十二條 議員ハ名譽職トス

第二十三條 議員ノ任期ハ四年トス

前項ノ期間ハ第十二條第一號ノ議員ノ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第二十四條 第十二條第一號ノ議員ニシテ其ノ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル者ハ其ノ職ヲ失フ

但シ納税ニ關スル條件ヲ失ヒタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條第一號ノ議員ニシテ其ノ選舉權及被選舉權ヲ停止セラレタル者亦前項ニ同シ

第二十五條 左ノ事項ハ議員總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 定款ノ變更
- 二 經費ノ豫算及賦課徵收方法
- 三 事業報告及收支決算ノ承認
- 四 借入金
- 五 顧問ノ選任又ハ解任
- 六 議員又ハ役員ノ解任
- 七 過怠金ノ賦課
- 八 第十二條第一號ノ議員ノ選舉權及被選舉權ノ停止

九 商工會議所ノ解散

十 日本商工會議所設立ノ同意

十一 其ノ他重要ナル事項

前項第一號、第二號、第四號及第九號ニ掲グル事項ノ議決ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十六條 議員總會ハ會頭之ヲ招集ス

議員總會ノ議長ハ會頭、會頭事故アルトキハ副會頭ヲ以テ之ニ充ツ、會頭及副會頭共ニ事故アル

トキハ出席議員ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

議員總會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ

議員總會ノ議決ハ出席議員ノ過半数ニ依リ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

前條第一項第一號、第四號、第五號、第九號ニ掲グル事項ノ議決ハ議員三分ノ二以上出席シ其ノ出席

議員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十七條 商工會議所ニ左ノ役員ヲ置ク

會頭 一人

副會頭 一人又ハ二人

會頭ハ商工會議所ヲ代表シ所務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

會頭及副會頭ノ外商工會議所ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

第二十八條 役員ハ議員總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十九條 役員ノ任期ハ四年トス

前項ノ期間ハ第十二條第一號ノ議員ノ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

第三十條

役員議員ノ職ヲ失ヒタルトキハ役員ノ職ヲ失フ

一二

第三十一條 議員タル會社役員ニ選任セラレタル後第二十條第一項ノ規定ニ依ル其ノ代表者ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ會社ハ役員ノ職ヲ失フ

第三十二條 役員ノ職務終了シタル場合ニ於テ所務ノ遂行ニ支障ヲ生ズル虞アルトキハ退職シタル役員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ後任者ノ就職スル迄引續キ仍其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十三條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ重要ナル事項ニ付諮問ヲ爲ス爲議員定數ノ五分ノ一ヲ超エザル員數ノ顧問ヲ置クコトヲ得

顧問ハ商工業ニ關スル學識經驗アル者又八十年以上議員トシテ功勞顯著ナル者ヨリ之ヲ選任ス顧問ハ名譽職トス

第三十四條 商工會議所ニ理事一人ヲ置ク

理事ハ會頭ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

理事ノ外商工會議所ニハ定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

第三十五條 商工會議所ハ必要ニ應ジ商業部工業部又ハ其ノ他ノ部ヲ置クコトヲ得部ノ名稱組織權限其ノ他部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 商工會議所ハ第十二條第一號ノ議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第四十一條又ハ第五十二條ノ規定ニ依リ選舉權ヲ停止セラレタル者ニ對シテハ停止中ト雖モ經費ヲ賦課スルコトヲ得

商工會議所ノ經費賦課ノ額ニ關スル制限及經費賦課ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ヨリ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第三十八條 經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ會頭ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付

一三



前項ノ徵收金ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次デ先取特權ヲ有シ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

經費ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十條 商工會議所ハ職務ヲ怠リ其ノ他不正ノ行爲アリタル議員又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第四十一條 商工會議所ハ經費ヲ滯納シタル者ニ對シ其ノ滯納中、前條ノ規定ニ依リ解任セラレタル者ニ對シ解任ノ時ヨリ四年以内第十三條第一號ノ議員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第四十二條 商工會議所ハ收支決算ヲ主務大臣ニ報告スベシ

商工會議所ハ少グトモ毎年一回其ノ事業成績ヲ主務大臣ニ報告スベシ

第四十三條 商工會議所ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第四十四條 商工會議所解散シタルトキハ議員總會ニ於テ清算人ヲ選任スベシ清算人缺ケタルト

キ亦同シ

清算人ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第四十五條 前條ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算人ヲ選任ス

第四十六條 清算人ハ商工會議所ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第四十七條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ議員總會ノ議決ヲ經主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

議員總會前項ノ議決ヲ爲サズ又ハ爲スコト能ハザルトキハ清算人ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ清算

及財産處分ノ方法ヲ定ムベシ

第四十八條 商工會議所ハ解散ノ後ト雖モ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徴收スルコトヲ得

前項ノ賦課徴收ニ關シテハ第三十六條及第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條 主務大臣必要ト認ムルトキハ定款、經費ノ豫算及賦課徴收方法又ハ清算及財産處分ノ方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十條 第十二條第一號ノ議員ノ選舉法令又ハ定款ニ違反スルトキハ主務大臣ハ選舉又ハ當選ノ取消ヲ爲スコトヲ得

第五十一條 商工會議所ノ議決又ハ議員、役員若ハ清算人ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 議員、役員又ハ清算人ノ解任

二 商工會議所ノ議決ノ取消

三 商工會議所ノ事業ノ停止

四 商工會議所ノ解散

第五十二條 主務大臣ハ不正ノ行爲アリタルニ因リ第五十條ノ規定ニ基キ當選ヲ取消サレタル者又ハ前條第一號ノ規定ニ依リ解任セラレタル議員若ハ役員ニ對シ取消又ハ解任ノ時ヨリ四年以内第十二條第一號ノ議員ノ選舉權及被選舉權ヲ停止スルコトヲ得

第五十三條 商工會議所ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲メ日本商工會議所ヲ設立スルコトヲ得

日本商工會議所ハ法人トス

日本商工會議所ヲ設立セントスルトキハ六以上ノ商工會議所發起人ト爲リ商工會議所總數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五十四條 日本商工會議所成立シタルトキハ商工會議所ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス  
日本商工會議所ハ主務大臣ノ認可ヲ受テ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ外國ニ於テ設立シタル商工  
會議所ニ準ズル法人其ノ他ノ團體ヲ加入セシムルコトヲ得

第五十五條 日本商工會議所ニ總會ヲ置ク

總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ各商工會議所其ノ他ノ團體ニ於テ選定シタル者ヲ以テ之ヲ  
組織ス

第五十六條 日本商工會議所ニ常議員會ヲ置ク

常議員會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ商工會議所其ノ他ノ團體ニ於テ選定シタル者ヲ以テ之  
ヲ組織ス

常議員會ハ定款ニ依リ委任セラレタル總會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス但シ定款ノ變更及日本  
商工會議所ノ解散ノ議決ハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十七條 日本商工會議所ノ役員ハ所屬ノ商工會議所其ノ他ノ團體ノ役員中ヨリ之ヲ選任ス但

シ特別ノ事由アルトキハ會頭又ハ副會頭ニ限り所屬ノ商工會議所其ノ他ノ團體ノ役員ニ非ザル  
者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

日本商工會議所所屬ノ商工會議所其ノ他ノ團體ノ役員中ヨリ選任セラレタル役員其ノ商工會議  
所其ノ他ノ團體ノ役員ノ職ヲ失ヒタルトキハ日本商工會議所ノ役員ノ職ヲ失フ

第五十八條 日本商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ商工會議所其ノ他ノ團體ニ對シ經費  
ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第五十九條 第五條第一項、第六條乃至第十條、第二十條乃至第二十二條、第二十五條乃至第二十七  
條、  
第二十九條第一項、第三十二條乃至第三十五條、第三十六條第三項、第三十

八條第三項、第三十九條、第四十條、第四十二條乃至第四十九條及第五十一條ノ規定ハ日本商工會  
議所ニ之ヲ準用ス

第六十條 主務大臣ハ本法ニ規定シタル其ノ職權ノ一部ヲ行政官廳ニ委任スルコトヲ得

第六十一條 第三條及第三十八條中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモ

ノトス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

商業會議所法ハ之ヲ廢止ス

商業會議所法ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商業會議所ハ之ヲ本法ニ依リ設立シタル

商工會議所ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付テハ議員ノ選舉又ハ選定ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施

行シ其ノ施行前ニ於ケル議員ノ選舉ニ關スル事項ハ仍舊法ノ規定ニ依ル

第三項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

日本銀行及橫濱正金銀行ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ會社ト看做ス

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲

役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス